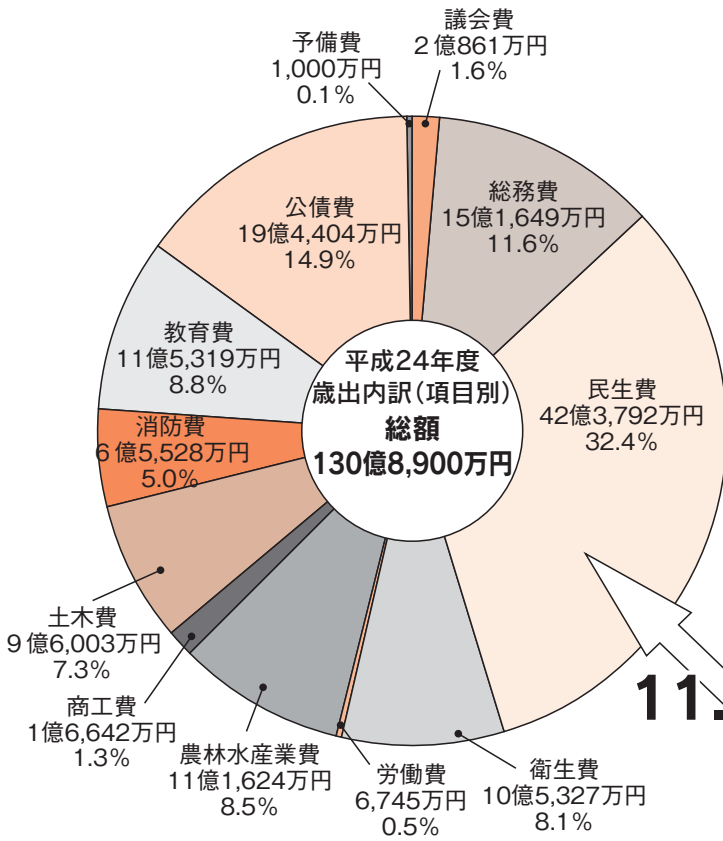
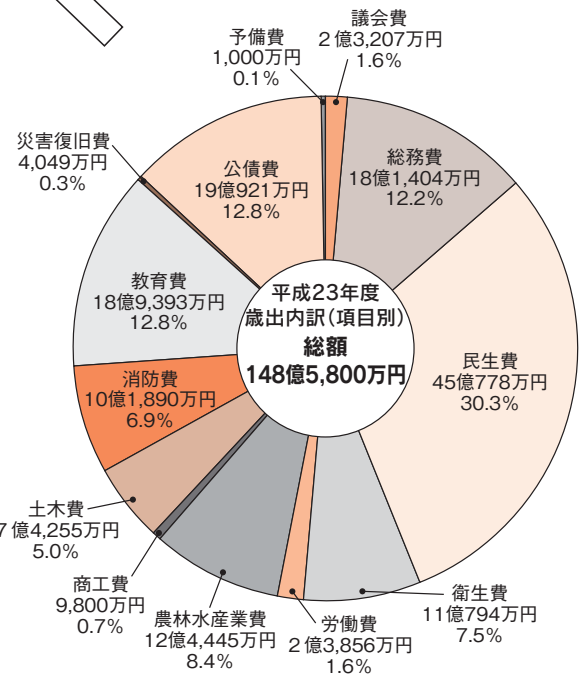


# 平成24年度 一般会計当初予算 前年度当初予算比、11.9%の減に

平成24年一般会計予算では、前年度当初予算と比べ17億6,900万円、率にして11.9%の減となりました。その内容としては、これまで数年に渡って取り組んできた西郷保育園改築工事と防災行政無線整備事業が完了したこと、および学校給食共同調理場も本年9月稼働という段階を迎え、一連の大型事業が終了したことによる支出の減少も踏まえながら、城原川ダム関連生活環境整備事業、中心市街地拠点整備事業などの新規事業や、老人憩の家改築事業や中央公民館大規模改修事業の設計業務にも取り組むなど、各種事業に加えて新規事業にも積極的に取り組む予算編成となっております。



11.9%減



平成23年度 一般会計当初予算

- 主な新規事業**
- ・美活スクール(マイルド婚活)事業
  - ・中心市街地拠点整備事業
  - ・神崎・吉野ヶ里地区葬祭公園整備促進協議会負担金
  - ・子どもの医療費助成事業
  - ・神崎市健康増進計画・母子保健計画策定事業
  - ・妊婦歯科検診事業
  - ・神崎町老人憩の家改築事業
  - ・障害児支援給付事業
  - ・露地野菜振興補助金
  - ・神崎市観光資源再発見事業
  - ・神崎市観光協会設立補助金
  - ・東野ヶ里団地避難器具取替え工事
  - ・橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託
  - ・神崎市小中学校英語教育推進事業
  - ・小学校校舎空調設置事業
  - ・神崎中央公民館改修事業(緊急防災・減災事業)
  - ・城原川ダム関連生活環境整備事業

※円グラフの数字は、見やすいように金額を四捨五入して表記しています。そのため総額と各項目の合計は合いません。

## 主な質疑・答弁

### 平成 24 年度神崎市一般会計予算について

#### 総務企画部関係

- Q** 平成 23 年度の地方交付税の決算見込みは。
- A** 平成23年度の地方交付税実績額は、47 億円程度確保できる。
- Q** 緊急時に消防団員 O B が消防車両を運転する場合に備えて、保険の対応は出来ているか。
- A** 緊急時に O B が消防車両を運転する場合に備えて、保険の対応もしている。



消防団車両

- Q** 中心市街地拠点整備事業について、どのような工事を予定しているのか。
- A** 工事請負費は、鳥正（やきとり）の南側私有地とその南側隣接の用地、水路西側の畑 3 筆で、勤労者体育館駐車場と一体化利用できないか検討を行い、西側水路にカルパートボックスを施工し、利用する計画である。

- Q** 神埼・吉野ヶ里地区葬祭公園整備促進協議会の委員構成はどのように考えているのか。
- A** 葬祭公園整備促進協議会負担金は 50 万円である。また、協議会の委員は、両市町の執行部と議員で、執行部が各 2 名、議会は各 4 名で調整が進んでいる。



葬祭公園予定地の土取り場跡地

- Q** 城原川ダム関連生活環境整備事業について県道三瀬・神埼線の道路改良の遅れ、産業振興の遅れに対し、県への働きかけが必要ではないのか。
- A** 生活環境整備については、平成 17 年度の事業は、用地が確保できるようにお願いしている。県道改良の件については、神埼土木事務所と県水質資源対策室とで連絡協議がされており、市としても早急な改良要望等もしている。

#### 市民福祉部関係

- Q** 母子生活支援施設入所者委託料について、どういう状況の人が入所するのか。また入所できる期間に期限があるのか。
- A** 県内に母子生活支援施設が 2 箇所あり、これを利用される方は DV 等で避難される方で、県内は発生していない。期限は、特に設けられていない。
- Q** 神崎市老人憩の家改築事業について、改築によりどれくらいの利用者を受け入れ可能か。
- A** デイサービスの利用者が平成 22 年度で延べ 1,482 名、1 日 11 名程度で、改修検討委員会では 25 名程度、年間 6,000 名で議論している。



改築が予定されている老人憩の家  
(神埼町)

#### 産業建設部関係

- Q** 農業用施設整備補助について、城原川草堰改修にあたって下流地域との調整は出来ているか。
- A** 公役等で改修する規模ではないので、河川管理者に河川法に基づく改築申請をしており、その添付資料において下流の水利権者の承諾が必要であり、大門井堰からお茶屋井堰までの樋管管理している各集落から、同意を得ている。
- Q** 緊急雇用創出事業が大幅に縮小されたが、今年度の事業内容はどのようになっているのか。
- A** 平成 24 年度は 3 事業。広報番組ラジオ放送事業、学校 I C T 支援員配備事業、不法投棄処理事業で、緊急雇用は震災対象者に限られている。

**Q** 神崎市観光資源再発見事業について、王仁神社とメガソーラー周辺の整備構想は。

**A** メガソーラー周辺整備と王仁神社との関係は、現在見学用地として王仁神社東側に1haの用地確保を予定されている。



造成中のメガソーラー決定地(神崎市)

**教育委員会関係**

**Q** 小中学校英語教育推進事業は、特設の時間や総合学習の時間に授業を計画されているが、具体的な時間割はどのように組むのか。

**A** 1、2年生は、現在行っていない6時間目の1コマを作ることを検討。総合学習の国際理解教育の時間と標準授業時数の余剰時間を合せた中で対応する。

**Q** 学校給食共同調理場への統合について、脊振地区と今後どのように協議していくのか。

**A** 建設検討委員会の中では、5年を目途という考えがあった。執行部と地元育友会（PTA）の考え方に違う部分があり、今後整合性を図りながら進めていく。

**Q** 西九州大学の学生に、放課後児童クラブ指導員として参加要請できないか。

**A** 今後、色々話を聞いて、協議・検討してみる。

## 議会改革検討特別委員会の経過報告

2月13日と3月14日に開催された小委員会の検討内容を受け3月15日に議会改革検討特別委員会を開催しました。

協議内容として、第1分科会では、

1. 政務調査費の用途基準などが論じられ、先例事例を参考に研究を深めること。
2. 本会議における質疑、質問などの議会申し合わせ事項については、他市議会の状況を調査後に再審議を行なう。

第2分科会では、

1. 議員定数の調査研究について、議員報酬のあり方について類似自治体の資料収集をし、現在、審議中である。
2. 議会基本条例については調査研究が済み、特別委員会での審議を提案された。

3. 議員の各種審議会、委員会等との関わりについては、県内他市議会の状況調査の結果、各所管の常任委員会で検討する事を提案された。

以上の報告に基づき小委員会で審議された結果を特別委員会に報告提案されました。この提案について議会改革特別委員会では、

1. 議会基本条例についての審議は、特別委員会全体で審議、研究することを決定。
2. 議員の各種審議会、委員会等の関わりについては、調査結果に基づき各所管の常任委員会で再検討することに決定。

他、調査研究している項目についても次期定例会において協議結果報告ができるよう、引き続き閉会中の継続調査を行なっていきます。

## 市民の願い国政に届ける（意見書）

### 公的年金 2.5%の引下げに反対する意見書

当時、政府は高齢者の生活実態と経済への悪影響を考慮して年金額を据え置いたものであるが、今回、高齢者を取り巻く状況はますます厳しさを増しているにもかかわらず「特別水準

解消 2.5%削減」を強行することは、高齢者の生活を守る立場からも、地域経済を活性化する立場からも認めることはできない。